

政策 **すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす**

方向 だれもが住み慣れた地域社会のなかで、そのひとらしい幸せな日常生活が健やかに送れるよう、保健・医療・福祉などくらしの基盤となるサービスや支援ネットワークが充実しているまちの実現をめざす。

評価 **C** 客観指標は、ボランティアの活動状況や各種サービスの利用実績など、全般に大変良い傾向である。市民生活実感は、福祉への市民の期待度が高いことなどから良い状況にはなく、特に地域福祉についてd評価であるなど、客観指標の良好な状況が市民になかなか実感されない状況にある。客観指標評価と市民生活実感評価を総合的に勘案して、この政策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

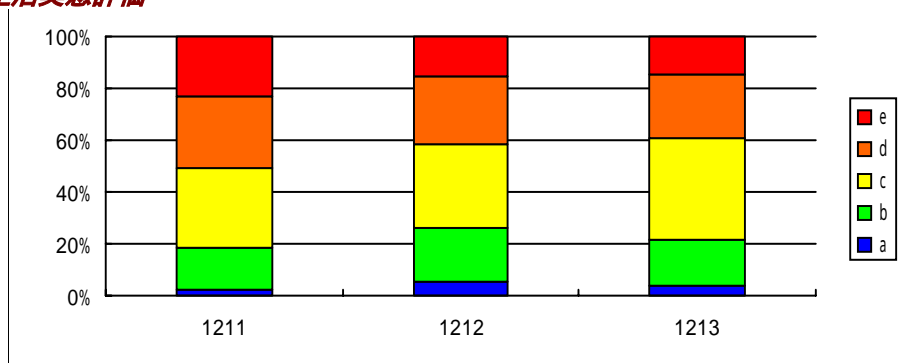
この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらすしくみづくり	評価:
1211 概要	地域社会での相互支援のしくみを再構築するとともに、福祉ボランティアの活動を支援し、地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会を構築する。	C
施策名	高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実	評価:
1212 概要	高齢者とその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	B
施策名	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実	評価:
1213 概要	障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	C

主な客観指標の現在値と評価(アウトカム指標での評価)

1211	ボランティア相談件数(件)	2319 b
1211	ボランティア登録者数(人)	41448 b
1212	介護保険施設の利用者数(人)	9172 b
1212	健康すこやか学級の登録者数(人)	5662 b
1212	介護保険における居宅介護支援利用者数(人)	29922 c
1213	精神障害者居宅介護等事業の延べ利用時間数(時間)	9361.5 a
1213	居宅介護(支援費)の延べ利用時間数(時間)	526623.5 a

市民生活実感評価



1211 万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。 **d**

1212 高齢者とその家族を支えるサービスが充実している。 **c**

1213 障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実している。 **c**